

2019年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月14日

上場会社名 サイタホールディングス株式会社
 コード番号 1999 URL <https://saita-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 才田 善之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平山 繁之
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
 TEL 0946 22 3875

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	4,789	15.4	697	43.7	762	57.1	492	71.6
2018年6月期第3四半期	4,151	21.8	485	166.3	485	106.3	287	77.1

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 474百万円 (52.7%) 2018年6月期第3四半期 310百万円 (85.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	781.45	
2018年6月期第3四半期	455.47	

(注) 当社は、2018年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第3四半期	7,126	2,832	39.7	4,492.25
2018年6月期	6,026	2,383	39.5	3,779.96

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 2,832百万円 2018年6月期 2,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		40.00	
2019年6月期		0.00			
2019年6月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

当社は、2018年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年6月期の1株当たりの期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年6月期の1株当たり年間配当金は40円となります。

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,530	18.0	780	42.0	850	44.6	550	70.8	872.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期3Q	661,000 株	2018年6月期	661,000 株
期末自己株式数	2019年6月期3Q	30,548 株	2018年6月期	30,506 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期3Q	630,480 株	2018年6月期3Q	630,503 株

(注)当社は、2018年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年6月期 第3四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 四半期建設事業受注の概況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が好調に推移するとともに雇用環境の改善等、全体的に緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、米国を主体とする貿易摩擦や近隣における地政学的リスクの継続等、依然として先行きに留意が必要な状況であります。

建設業界におきましては、災害復旧・復興事業等、公共投資は増加しているものの、技術労働者不足や資材価格の高止まりによる建設コストの上昇等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、グループ各社の収益改善に努めて参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は47億8千9百万円（前年同四半期比15.4%増）となり、営業利益6億9千7百万円（前年同四半期比43.7%増）、経常利益7億6千2百万円（前年同四半期比57.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億9千2百万円（前年同四半期比71.6%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

(建設事業部門)

当第3四半期連結累計期間の受注高は42億6千万円（前年同四半期比130.1%増）、完成工事高は22億9千1百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は2億6千8百万円（前年同四半期比22.3%減）となりました。

(砕石事業部門)

当第3四半期連結累計期間の売上高は19億8千万円（前年同四半期比50.6%増）、営業利益は5億8千6百万円（前年同四半期比113.2%増）となりました。

(酒類事業部門)

当第3四半期連結累計期間の売上高は2億8百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業損失は2千7百万円（前年同四半期は営業損失1千9百万円）となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は3億1千万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は2千3百万円（前年同四半期比5.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は43億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5千4百万円増加いたしました。これは主に未成工事支出金等が2千1百万円減少いたしました。現金預金が4億6千6百万円、受取手形・完成工事未収入金等が5億9千7百万円増加したことによるものであります。固定資産は27億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千6百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が4千1百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、71億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は37億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ6億1千万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が1億8百万円減少いたしました。未成工事受入金が4億9千6百万円、支払手形・工事未払金等が2億1千3百万円増加したことによるものであります。固定負債は5億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千1百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が3千4百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、42億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億5千1百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は28億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千8百万円増加いたしました。これは配当金2千5百万円の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益4億9千2百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.7%（前連結会計年度末は39.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第3四半期連結累計期間(2018年7月1日から2019年3月31日まで)の業績につきましては、主力事業である建設事業において公共土木工事の利益率が向上し、また碎石事業における売上原価率の改善により営業利益、経常利益が前回予想を上回りました。

以上の理由により、通期の業績予想につきましては、第3四半期までの業績を踏まえ上方修正しております。

なお、期末の配当予想につきましては、前回発表予想から変更はありません。

業績予想の修正につきましては、本日(2019年5月14日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,885,247	2,352,173
受取手形・完成工事未収入金等	1,178,463	1,775,535
未成工事支出金等	207,302	185,462
その他	12,455	24,321
貸倒引当金	△2,855	△2,870
流動資産合計	3,280,613	4,334,622
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	312,410	300,294
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	650,562	711,489
土地	790,994	790,994
リース資産(純額)	13,852	8,988
その他	23,578	21,089
有形固定資産合計	1,791,398	1,832,855
無形固定資産		
採石権	12,666	12,666
その他	2,663	2,663
無形固定資産合計	15,329	15,329
投資その他の資産		
投資有価証券	282,131	277,601
保険積立金	199,804	211,681
繰延税金資産	69,786	56,994
退職給付に係る資産	105,526	99,397
その他	343,334	359,747
貸倒引当金	△61,330	△61,330
投資その他の資産合計	939,253	944,092
固定資産合計	2,745,981	2,792,277
資産合計	6,026,595	7,126,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	706,819	920,499
短期借入金	1,643,492	1,639,565
リース債務	6,878	6,175
未払費用	154,981	78,562
未払法人税等	214,488	106,388
未成工事受入金	153,052	649,730
工事損失引当金	10,800	20,600
賞与引当金	6,482	27,932
その他	213,158	271,062
流動負債合計	3,110,153	3,720,516
固定負債		
長期借入金	354,114	388,834
リース債務	8,472	3,854
退職給付に係る負債	132,023	140,501
役員退職慰労引当金	34,526	37,214
その他	4,063	3,835
固定負債合計	533,198	574,238
負債合計	3,643,351	4,294,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,950	942,950
資本剰余金	594,558	594,558
利益剰余金	901,063	1,368,530
自己株式	△35,785	△35,833
株主資本合計	2,402,787	2,870,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,099	△7,489
為替換算調整勘定	△28,643	△30,570
その他の包括利益累計額合計	△19,543	△38,059
純資産合計	2,383,243	2,832,145
負債純資産合計	6,026,595	7,126,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
売上高		
完成工事高	2,307,437	2,291,009
兼業事業売上高	1,843,970	2,498,413
売上高合計	4,151,408	4,789,423
売上原価		
完成工事原価	1,793,722	1,803,593
兼業事業売上原価	1,308,279	1,573,344
売上原価合計	3,102,002	3,376,937
売上総利益		
完成工事総利益	513,715	487,416
兼業事業総利益	535,691	925,069
売上総利益合計	1,049,406	1,412,485
販売費及び一般管理費	563,557	714,490
営業利益	485,848	697,994
営業外収益		
受取利息	866	868
受取配当金	1,318	1,458
固定資産賃貸料	27,387	36,087
持分法による投資利益	2,189	41,145
その他	6,808	10,631
営業外収益合計	38,570	90,191
営業外費用		
支払利息	14,804	14,662
為替差損	18,295	1,267
その他	6,059	9,764
営業外費用合計	39,159	25,694
経常利益	485,259	762,491
特別利益		
固定資産売却益	454	10,596
特別利益合計	454	10,596
特別損失		
減損損失	9,206	13,376
固定資産売却損	263	—
特別損失合計	9,470	13,376
税金等調整前四半期純利益	476,244	759,712
法人税、住民税及び事業税	160,346	249,028
法人税等調整額	28,719	17,997
法人税等合計	189,066	267,026
四半期純利益	287,178	492,686
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,178	492,686

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	287,178	492,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,389	△16,588
為替換算調整勘定	16,933	△1,927
その他の包括利益合計	23,322	△18,516
四半期包括利益	310,501	474,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310,501	474,170
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年7月1日 至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,307,437	1,314,341	218,651	3,840,431	310,977	4,151,408	-	4,151,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,258	106,045	486	112,790	20,542	133,332	△133,332	-
計	2,313,695	1,420,387	219,138	3,953,222	331,519	4,284,741	△133,332	4,151,408
セグメント利益又は 損失(△)	344,974	275,096	△19,671	600,399	24,833	625,232	△139,383	485,848

(注) (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額139,383千円には、セグメント間取引消去1,806千円、各報告セグメントに配分していない全社費用141,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、建物・構築物、機械装置・工具器具備品、車両運搬具、管理備品及び長期前払費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては9,206千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日 至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設事業	砕石事業	酒類事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,291,009	1,980,011	208,026	4,479,047	310,375	4,789,423	-	4,789,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,350	156,114	515	172,980	22,844	195,824	△195,824	-
計	2,307,359	2,136,126	208,541	4,652,027	333,220	4,985,247	△195,824	4,789,423
セグメント利益又は 損失(△)	268,030	586,422	△27,551	826,901	23,438	850,339	△152,345	697,994

(注) (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額152,345千円には、セグメント間取引消去1,416千円、各報告セグメントに配分していない全社費用153,761千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、機械装置・工具器具備品、車両運搬具及び長期前払費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては13,056千円であります。

「その他」セグメントにおいて、工具器具備品の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては319千円であります。

3. 四半期建設事業受注の概況

(株式会社才田組受注高)

	受注高	
	千円	%
2019年6月期第3四半期累計期間	4,078,987	145.2
2018年6月期第3四半期累計期間	1,663,366	9.6

- (注) 1. 受注高は、当該四半期までの累計額であります。
 2. パーセント表示は、前同四半期比増減率であります。

受注実績内訳

			2019年6月期 第3四半期累計期間		2018年6月期 第3四半期累計期間		比較増減	増減率
			千円	%	千円	%	千円	%
建設事業	土 木	官公庁	2,606,263	63.9	939,171	56.5	1,667,092	177.5
		民 間	572,842	14.0	489,463	29.4	83,379	17.0
		計	3,179,106	77.9	1,428,634	85.9	1,750,472	122.5
	建 設	官公庁	243,450	6.0	33,679	2.0	209,770	622.8
		民 間	656,431	16.1	201,053	12.1	455,377	226.5
		計	899,881	22.1	234,732	14.1	665,148	283.4
	合 計	官公庁	2,849,713	69.9	972,850	58.5	1,876,863	192.9
		民 間	1,229,273	30.1	690,516	41.5	538,757	78.0
		計	4,078,987	100.0	1,663,366	100.0	2,415,621	145.2

- (注) パーセント表示は、構成比率であります。